從業員自身の力に還れ！

——裏切者と手を切つて三万從業員の自主的闘爭へ！

大衆黨 第六報

右翼四派のザマは何んだ。彼等は上京に當って、八幡驛頭何んと誓つた。合同法案の議會提出を喰ひ止め得ないならば死すとも歸らずと叫んだ筈だ。其の合同案は未だ議會に提出するとも、せざるとも決せざる裡にノコノコと歸って來た。中島商相からお座なりの回答を聞き、何んの役にも立たない衆議院訪問と首相官邸見物をしただけで圖々しくも八幡に歸って來たのだ。

上京だ!!上京だ!!と鐘太皷で宣傳し從業員の血の出る様な金を半日一日分と徴發し、無慮百十何名、只東京見物をしただけに止まつたではないか。ペテンだ！初めから右翼四派がもくろんだ隠險極まる大カラクリだ。

然もそれは、中井長官が手を打って喜ぶカラクリだつたのだ。八幡をカラにして、出來もしない上京運動に期待を持たせ、それで從業員の下から持ち上がる合同反對熱を方向轉換させようとする巧妙な策戰だつたのだ。

三萬の職工、職夫諸君！諸君は此のワナに見事引きかゝつたのだ。

百十何名の上京委員中、右翼四派に屬しない何十名かの純眞な委員も又彼奴等のペテンに乘せられたのだ。

初めから判り切つたことだ。頭ばかりペコペコ下げ泣き陳情すれば合同案が押しつぶされるなら世の中に此れ程樂な反對運動はない筈だ。乞食の様な哀れな聲で、中島商相の情けの袖にスガって來い!!と命せられた上京では斷じて無かつた筈だ。死を誓ひ、身を投げ出して闘爭せよと命せられて行つた筈だ。

東京の戰闘的同志の力を藉りても何故闘はぬ。

八幡三萬の勞働者の生命に關する重大事で有る限り、東京の同志は必ず應援して呉れる筈だ。東京驛に出迎へて歡迎の辭なんかで御茶をにごす様なダラ幹でなくして、血みどろの應援をおしまない階級的な同志が何萬人でも東京にはゐるのだ。それ等の同志に一度でも應援を依頼したか？斷じて爲さなかつた筈である。それ等の同志と共に戰闘的な反對運動をやれば、長官から一喝を喰ふのが恐ろしさに、葬式行列の様な陳情で日を暮らしたのだ。

上京費の只取りだ。そして從業員を引き廻したんだ。

從業員諸君!!彼奴等は、此の慘忍を敢て爲し、未だ諸君をダマシに懸つてゐるのだ。曰く『今度は地元で闘ふ』と云ひ出した事だ。彼等に闘爭の意思なぞ毛程も無い。それは諸君がハッキリ判つた筈だ。

彼等と絶縁せよ。

彼等に指導せられる限り、絶對に諸君は浮び上がれない。彼等と共に行動する事は、死神と同伴する事だ。

手を切れ!!如何なる犠牲を拂つても彼奴等と絶縁せよ

斯うして自主的闘爭主体を作れ！

絶縁して、諸君の自主的闘爭主体を作れ、方法は簡單だ。而して容易だ。

第一に。現場々々で從業員大會を開く事だ。食堂會議でもよし、部分的な職場會議でも結構だ。

第二に。此の會議には、右翼四派と聯絡のある奴は絶對に發言させない事だ。元より斷じて役員なぞにしてはならない。今日迄、何の團体にも屬しない人を議長にするんだ。そして實行委員を二三名擧げる事だ。

第三に。此の現場大會が自分の工場で實現したならば、直ちに隣の工場に波及させ、次から次へと擴大して行くのだ。

第四に、現場大會が五、六の工場にできたら大會を開くのだ。更に此の大會で少數の代表者と數十名の實行委員を選出する事だ。そして製鐵官民合同絶對反對の從業員闘爭同盟の名乘りを上げる事だ。

其の力でブツツカルのだ。

此れより以外に途は無いのだ。之が諸君に出來ないと云ふならば今回の反對運動は絶對駄目だ。初めからやらない方が好いと斷言して差支へない。

やれるんだ!!諸君が少しばかりの決心さへすれば、必ずやれる。

指導者が無い！と弱音を吐いてはならない。指導者は必ず其の中から生れて來る。更に、外部から眞の應援者が出て來る。

外部は常に應援者だ。更に犠牲は外部が負ふ可きだ。

犠牲と援助は、必ず從業員以外の應援者から拂はれてゆく。

諸君は只、自主的組織を作れば好いんだ。其の自主的組織とは、製鐵所と常に聯絡を持つて從業員を欺瞞から欺瞞へ引きづり廻して來た、ダラカンと絶縁した組織だ。

而て、最後に、哀願に據らず、陳情に據らず、自己の力を信じ、プロレタリアの使命を信じた、闘爭による組織が、それなのだ。

從業員諸君!! 我々は血の叫びを擧げる。此の自主的組織を作れと！これのみが、諸君の生きる只一つの途だ!!

大衆黨製鐵官民合同反對闘爭委員會

財團法人 協調會福岡出張所